

## 1 単元について

対 象 学 年	小学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	第1学年及び第2学年の内容 (2)(8)
単 元 名	「あしたへジャンプ」 (全21時間)
単 元 目 標	<p>自分の成長に関心をもち、進んで聞いたり、調べたりして、成長を振り返ることができる。また、自分の役割を意欲的に果たしたり、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとするすることができる。</p> <p>(生活への関心・意欲・態度)</p> <p>様々な手掛かりをもとに、工夫して自分の成長を振り返り、分かったことや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちなどを表現することができる。また、自分でできることなどについて考えることができる。</p> <p>(活動や体験についての思考・表現)</p> <p>大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長には多くの人の支えがあったことに気付くことができる。また、成長を支えてくれた人に感謝し、成長への願いや夢があることに気付いている。</p> <p>(身近な環境や自分についての気付き)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導目標と評価規準を明確にし、基礎的・基本的な内容が確実に定着するよう活動内容の精選を図る。</li> <li>・今回の改訂では、一律に過去から順にたどることを示してしていないが、1年生の時の自分・幼稚園の時の自分・もっと小さい頃の自分...と振り返り、その中で自分の成長を実感できるところを大切に扱いたい。また、友だちなどに自分の過去について発表するという表現活動を通して、成長を実感させるよう指導の工夫をする。(教師の問いかけ、振り返りの工夫)</li> <li>・1・2年生を通して生活科の最後の単元となるので、単元の終末の3年生の活動を見たり教えてもらったりする活動を大切に、次学年に向けての期待をもたせ、活動を締めくくると単元の構成を考える。</li> </ul> <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で自分のことを調べていく活動が多く、「自分の成長に気付くこと」が中心となってくるので、個人差があることが予想できる。従って一単位時間の中でペア・グループ・全体など必ず友だちとのかかわりをもたせて、活動を活性化させるとともに、友だちに表現することを通して成長を実感させる。</li> </ul> <p>教師の指導・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が小さかった頃使っていた物を探して持ってきたり、小さい頃の様子を聞いてきたり、とこの単元は家庭での保護者の協力が欠かせない。事前に十分なお願いをし、この単元に入ることが大切である。(家庭によっては、個人的なお願いをしておく必要がある。それぞれの家庭の事情を把握し、十分配慮して指導にあたる。)</li> <li>・1・2年生を通して生活科の最後の単元ということで基本的な学習の仕方のまとめとして、お互いのよさを認め合い、共に成長を喜び合う場を設定する。他教科等との関連も図る。</li> </ul>
参 考 資 料	

## 2 単元の評価規準

<p>【学習指導要領の内容】(3)「地域と生活」</p> <p>自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p>
<p>【学習指導要領の内容】(5)「季節の変化と生活」</p> <p>身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。</p>
<p>【学習指導要領の内容】(7)「動植物の飼育・栽培」</p> <p>動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。</p>

	ア生活への関心・意欲・態度	イ活動や体験についての思考・表現	ウ身近な環境や自分についての気付き
内容とのま評と価 ま規 り準 (3)	地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。	地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考え、それを表現することができる。	自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。
内容とのま評と価 ま規 り準 (5)	身近な自然を観察したり季節や地域の行事にかかわる活動をしたりしようとしている。	四季の変化や季節に応じて、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。	四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心している。
内容とのま評と価 ま規 り準 (7)	生き物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	工夫して動物を飼ったり植物を育てたりするとともに、世話をしたことや、生き物のことなどについて表現することができる。	動植物は生命をもっていることや成長していること、動植物の世話の仕方などに気付きしている。
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の成長や変化の様子に関心をもって観察し、愛情をもって大切に世話をしようとしている。</li> <li>季節ごとに異なる野菜を親しみをもって育てようとしている。</li> <li>地域の野菜づくり名人と親しみをもってかかわり、自分の生活を広げ、豊か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫して野菜を育てるとともに、世話の苦労や工夫、野菜のことについて表現することができる。</li> <li>季節ごとに収穫した野菜を使って、自分たちの生活を工夫したり楽しんだりできる。</li> <li>野菜づくり名人に話を聞いたり教えていただいた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜が成長と共に変化し世話の仕方も変わることや季節に応じた生活と野菜とのかかわりに気付いている。</li> <li>地域には素晴らしい知恵をもった人がたくさんいて、上手に接して生活すると楽しいことに気付いている。</li> </ul>

	<p>にしようとしている。</p>	<p>りして、地域の人と適切にかかわることができる。</p>	
<p>活動内容における評価規準</p>	<p>思いやりをもって扱い、成長を願いながら苗を植えたり、種まきをしたりしている。</p> <p>芽が出て徐々に大きくなっていく野菜の苗に興味をもって観察するとともに、大切に畑へ移植している。</p> <p>成長への願いを込めて、進んで肥料をまいている。</p> <p>収穫の喜びや感謝の気持ちが伝わるか、友だちと互いに見合いながら準備している。</p> <p>お世話になった方と積極的にかかわろうとしている。</p> <p>野菜を大切に育ててきたことや、収穫できた喜びを伝えようとしている。</p>	<p>野菜の種の様子や蒔き方、成長への願いなど野菜に対する思いを絵や文で表すことができる。</p> <p>植物に合った世話の仕方が分かり、成長への願いをもって世話の工夫をすることができる。</p> <p>野菜を育てて見付けたことを工夫して絵と文で表すことができる。</p> <p>収穫の喜びや感謝の気持ちが表れる会になるように、アイデアを出し、工夫することができる。</p> <p>お世話になった人に、自分ができるようになったこと、野菜を工夫して育てたことや感謝の気持ちを伝えることができる。</p> <p>春まき野菜と秋まき野菜の育て方を比べながら、世話をすることができる。</p> <p>育ててきた野菜への親しみの思いや野菜作りをして初めて知ったこと、気付いたことを高齢者に伝える工夫をすることができる。</p> <p>一番心に残っていることや、自分がしてきた世話や苦労について表現することができる。</p>	<p>自分たちの生活の中には、たくさんの野菜と関わっていることに気付いている。</p> <p>野菜によって、葉の形や成長の変化に違いがあることに気付いている。</p> <p>野菜の成長の変化に気付いている。</p> <p>野菜によって、成長の変化や世話の仕方が違っていったことに気付いている。</p> <p>自分が大切にして世話をしてきたことで、野菜が成長したことに気付いている。</p> <p>野菜作り名人さんとかかわったことで、立派に収穫できたことに気付いている。</p> <p>季節に合わせて、野菜を工夫して食べることに気付いている。</p> <p>感謝の気持ちを伝えるには、自分ができるようになったことや、野菜を育てた楽しみを伝えればよいことに気付いている。</p>

3 指導と評価の計画（全21時間）

時	ねらい (記号): 具体的な10の視点	学 習 活 動	評価規準と評価方法	指導・援助
1	家庭での生活を振り返り、家族のために自分がしていることを発表したり、友だちの様子を聞いたりすることができる。  (ア)(ケ)	お手伝いの生活作文より、自分の家庭でのお手伝いについて振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         家でのお手伝いについて、「こんなことができるようになったよ」を教え合おう。                     </div> 自分のお手伝いの様子について発表する。 自分と比べながら、友だちの発表を聞く。 1年生の頃はどうか、考える。	・家庭でのお手伝いについて、意欲的に自分の生活を振り返り、発表しようとしている。 <ア - > (行動観察)  ・自分でできることを進んですることが大切なことに気付いている。 <ウ - > (ノートの記述)	・「あのねノート」の中で、お手伝いについて書いてある作文を選んでおき、方向付けをする。  ・夏休みからずっとお手伝いを続けている児童を事前に調べておき、その児童の思いや、家族の感想などを把握し、学級に広める。  ・お手伝いができていない子ども、今から(冬休みを通して)でも取り組めるよう意欲化を図る。
2 3	1年生の頃の自分を思い出し、カードを書きながらグループの友達に、1年生の頃の自分を教えることができる。  (オ)(ケ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         1年生の自分を思い出し、グループの友達に様子を教えよう。                     </div> 1年生の時の生活科ファイルを振り返ってみよう。 振り返り後、カードの記入をする。 カードを使いながらグループの友達に自分の1年生の頃の様子を伝える。 もっと、小さい頃について興味をもつ。	・1年生の頃と比べて、できるようになったことなどに関心を持ち、進んで調べようとしている。 <ア - > (行動観察)  ・1年生の頃と比べてできるようになったことを中心に表現することができる。 <イ - > (カードの記述) ・1年生の時の様子を振り返り、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。 <ウ - > (発表の内容)	・1年生の頃の写真を何枚か提示し、1年生の頃を思い出すきっかけとする。また、教室にしばらく掲示し、自分に近いところから小さい頃を思い出す環境構成を作り出す。 ・1年生の生活科ファイルを持参させ、ファイルを振り返り、思い出すよう助言する。
課			・小さい頃の様子に関心を持ち、その頃のことを	・前時の活動の終了時に、幼

外		<p>幼稚園や保育園の頃の自分の様子が分かるものを集めてこよう。 幼稚園や保育園の先生から、その頃の自分の様子を教えてもらおう。</p>	<p>知るための手掛かりを探そうとしている。 ＜ア - ＞（日記の内容）</p>	<p>幼稚園・保育園の頃の自分に目を向けさせ、当時の写真を各自1枚持ってくるように連絡する。（保護者にも通信でお願いをしておく。家庭への配慮を十分行う。） ・冬休み中に、幼稚園の頃の先生にお手紙を出し、自分のことを教えてもらうようにするための手紙の書き方の指導をする。</p>
4 5	<p>幼稚園や保育園の頃の自分の様子を写真やその頃の先生などの話をもとにしてカードにまとめ、紹介することができる。</p> <p>（イ）（オ）（ケ）</p>	<p>幼稚園や保育園の頃の様子を、1枚の写真やその頃の担任の先生等の話を手掛かりに思い出し、発表する。</p> <div data-bbox="479 676 920 788" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>幼稚園・保育園の頃の自分のことについて、カードにまとめ、紹介しよう。</p> </div> <p>自分の幼稚園・保育園の頃のことについて、カードを見せながら発表する。 大きくなったこと、自分でできるようになったことが増えたことを実感する。 幼稚園・保育園の頃よりさらに小さい頃の自分に興味・関心をもち、調べる計画を立てる。</p>	<p>・様々な物を手掛かりとして、過去の自分と現在の自分を比較し、成長を表現することができる。 ＜イ - ＞（発表の内容） （カードの記述）</p> <p>・小さい頃のことについて発表することを通して、自分が大きくなったことや心の成長に気付いている。 ＜ウ - ＞（振り返りカード）</p>	<p>・出身の幼稚園・保育園ごとにカードをまとめ、さらに小さい頃を思い出す環境構成を作り出す。 ・今の自分はどうなの？と問い返すことで、比較することを意識化するようにする。 ・調べてきて分かったことと結びつけて自分が感じたことを問い返すことで、成長に気付くようにする。</p>
課 外		<div data-bbox="472 1166 927 1267" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>もっと小さい頃の自分のことを調べよう。</p> </div>	<p>・小さい頃の様子に関心をもち、その頃のことを知るための手掛かりを探そうとしている。 ＜ア - ＞（調査カードの記述）</p>	<p>・単元導入の前に、学年通信や生活科便りなどで、家庭に小さい頃の資料を集める（思い出の品、エピソード）お願いを十分にしておく。また、各家庭の事情をよく把握して十分配慮する。 ・準備は、冬休みを利用してできるように事前指導をして</p>

6 本 時	<p>自分の小さい頃のことについて、友だちに発表することを通して、自分や友だちの小さい頃のことについて知り、これまでの成長に気付くことができる。</p> <p>(イ)</p>	<p>小さい頃の思い出の品物を見せ、その頃の様子を発表し合う。</p> <p>(グループ発表)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の小さい頃のことについて話したり、友だちの小さい頃のことを知ったりしよう。</p> </div> <p>友だちの話の内容などを、今日の学習の観点から振り返り、気付いたことを書く。</p> <p>学級全体で、特に教師が取り上げたい児童2～3名の話を書く。</p> <p>小さい頃の思い出の品物に手紙を書く。</p>	<p>・自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;ア - &gt; (発表の様子)</p> <p>・小さい頃のことについて発表することを通して、自分が大きくなったことや、心の成長に気付いている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;ウ - &gt; (物への手紙)</p>	<p>おく。</p> <p>・調査カードを事前に集め、一人一人の把握をするとともに、過去の自分と現在の自分と比較し、自分の成長に気付いている箇所を評価し、発表の意欲化につなげる。</p> <p>・小さい頃の思い出の品物や調査カード、聞いてきた話については、友だちに「ひみつ」にすることを約束し、本時の学習の意欲の高揚を図る。</p> <p>・今の自分と比べてどう？と投げかけ、成長に気付くようにする。</p>
7 8 9 10	<p>1年生とそれ以前の自分のことについて、今まで調べてきたことを整理し、自分で選んだ方法でまとめることができる。</p> <p>(コ)</p>	<p>今までの学習活動で、自分の過去について新しく分かったことをまとめ、友だち同士広め合う。</p> <p>自分の過去について、新しく分かったことのうち、一番発表したいことを選ぶ。</p> <p>まとめる表現方法を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の昔のことについて、新しく分かったことを伝える方法を考え、まとめよう。</p> </div> <p>自分がしたい表現方法を決める。</p> <p>新しく分かったことを中心に今まで調べてきたこと、思ったこと、気付いたことをまとめる。</p>	<p>・自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;ア - &gt; (行動観察)</p> <p>・様々な物を手掛かりとして、過去の自分と現在の自分を比較し、成長を表現することができる。</p> <p style="text-align: center;">&lt;イ - &gt; (まとめの作品)</p> <p style="text-align: center;">(つばやき)</p> <p>・これまでの自分の成長について、自分なりの方法で表現することができる。</p> <p style="text-align: center;">&lt;イ - &gt; (まとめの作品)</p>	<p>・これまでのファイルをもとに一番発表したいことを選ぶように促す。</p> <p>・教師がいくつかのまとめ方の例示をして、児童が参考にできるようにする。</p> <p>・まとめの活動はまとめる方法別グループを構成し、グループで見合ったり、教え合ったりして行う。</p> <p>・まとめている活動中にさらに知りたいことがあれば、繰り返しいろいろな人に聞くことが大切であることを知らせ、かかわりを深めるように助言する。</p>
11	グループの中で自分	生活グループ内でまとめ	・自分が大きくなったこと、自分でできるように	・前時の作品をよく見届け、

12	<p>のまとめたことを発表する練習を行い、グループでミニ発表会をすることができる。</p> <p>(ケ)</p>	<p>た作品を交換し見合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">発表練習をして、グループ内でミニ発表会をしよう。</div> <p>発表練習をする。 グループミニ発表会をする。</p> <p>友だちの発表から、友だちのことについて、さらに新しく知ったことについてカードに書く。(ミニカードを渡す。)</p>	<p>なったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。</p> <p>&lt;ア - &gt; (発表の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長の喜びや感謝の気持ちを表現することができる。</li> </ul> <p>&lt;イ - &gt; (まとめの作品)</p> <p>(発表の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長を喜んだり、励ましたりしてくれた多くの人々の存在に気付いている。</li> </ul> <p>&lt;ウ - &gt; (発表の内容)</p>	<p>児童に自信をもたせるよう評価しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長の喜びや感謝の気持ちをどう伝えたいか問いかけ、教師がともに考える援助をする。</li> <li>・机間指導をし、支えてくれた人々があることに気付いている発表を評価していく。</li> </ul>
13 14 15	<p>友だち同士で成長を認め合うとともに、「こんなに大きくなったよ。」と成長を支えてくれた人に感謝しながら発表会をすることができる。</p> <p>(オ)(ケ)</p>	<p>ミニ発表会を思い出しながら、クラス全体の中で「大きくなったよ発表会」を開く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">2年1組の「大きくなったよ発表会」を開き、友だちの大きくなってがんばったことを見つけよう。</div> <p>自分のことについて、新しく知ったことを中心に発表する。 友だちの成長ぶりを、過去と比較しながら聞く。 「がんばったねカード」を記入し、友だちの成長ぶり、現在のよさを伝える。</p>	<p>・自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。</p> <p>&lt;ア - &gt; (発表の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの成長ぶりを知り、現在のよさを伝えることができる。</li> </ul> <p>&lt;イ - &gt; (発表の内容)</p> <p>(がんばったねカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの手紙の内容から自分の成長をさらに実感している。</li> </ul> <p>&lt;ウ - &gt; (行動観察・表情)</p>	<p>・ミニ発表会で発表がうまくいかなかった児童は、どんな点を全体発表でなおしていくか、事前に相談し練習をさせておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にミニ発表会の時のミニカードのよかった物を掲示し、よさを広め本時に活かす。</li> <li>・発表内容と結びつけて、現在の友だちの様子と比べてみることを促す。</li> <li>・友だちからもらった手紙の内容の感想を聞く。</li> </ul>
16	<p>お世話のなった人にお手紙を書き、感謝の気持ちを伝えることができる。</p> <p>(イ)(オ)(ケ)</p>	<p>「大きくなったよ発表会」を思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">お世話になった人にお礼のお手紙を出そう。</div> <p>誰にお手紙を書くか決める。 「大きくなったよ」が分かる内容</p>	<p>・自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを伝えようとしている。</p> <p>&lt;ア - &gt; (行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長の喜びや感謝の気持ち、これからの成長への願いなどを表現することができる。</li> </ul> <p>&lt;イ - &gt; (手紙の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の領域との学習と結びつけて、気持ちを高めていくようにする。</li> <li>・発表会での内容、友だちからの手紙と結びつけて気持ちをどう伝えるかともに考え、援助をする。</li> </ul>

		でお手紙を書く。		
17 18	思い出の作品の整理や生活科ファイルをまとめ、2年生の生活科の学習をまとめることができる。 (ケ)	作品の整理・ファイル整理をする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           作品の整理をしながら、2年生の生活科の学習を振り返り、がんばったこと、できるようになったことを見付けよう。         </div> ・ 2年生の生活科で学習したことを振り返って、2年生の自分へのメッセージを書く。	・成長の喜びや感謝の気持ち、これからの成長への願いなどを表現することができる。 <イ - >(自分へのメッセージ) ・1年間の作品やファイルを整理し、2年生の自分の生活などを振り返ることを通して、自分の成長に気付いている。 <ウ - >(自分へのメッセージ)	・2年生の自分へのメッセージが書けるようなカードを用意する。 ・生活科などのファイルやその他の作品から自分の成長に気付くよう成長について明確な事実を提示し、ともに喜ぶ言葉かけをする。
19	3年生での活動を予想したり、3年生の人から話を聞いたりして、来年の活動に期待をもつことができる。 (ウ)	3年生になったら、どんなことをするのか予想する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           3年生になったらどんな活動をするのだろう。         </div> 3年生の人から、3年生での活動などについて話を聞く。 教えてもらったことを伝え合う。 友だちの話を2年生の活動と比べながら聞く。	・3年生に向けて希望や期待をもちながら意欲的に生活していこうとする。 <ア - >(行動観察)	・もうすぐ3年生という期待感をもつよう、いろいろな視点から3年生への希望をもてるような投げかけをする。
20	3年生での学習の様子を見せてもらい、3年生への期待や意欲をもつことができる。 (イ)(オ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           3年生での勉強や活動の様子を見せてもらおう。         </div> 3年生教室で実際に勉強や活動の様子を見せてもらう。 見学後、感想と期待・希望をカードに書く。	・3年生に向けて希望や期待をもちながら意欲的に生活していこうとする。 <ア - >(振り返りカード) ・これからも成長できることや、成長への願いや夢があることに気付いている。 <ウ - >(発表内容・カード)	・「自分達と比べて見ると」という観点を確認して発表を見るように指導する。 ・3年生に向けて期待や意欲をもつことができたか、カードで確認する。みられない場合は個別に話をして不安を取り除く配慮をする。
21	自分の成長を振り返った感想を紹介し合いながら、家族が期待していることが分かり、さらに家族の	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           自分の成長を振り返った感想を紹介し合おう。         </div> お互いが成長し合っていることが分かる。	・自分の成長を振り返り、現在家庭で行っていることを続けていこうとしている。 <ア - >(発表の内容) (振り返りカード)	・自分の成長をまとめたものや単元を振り返ることができる掲示物を掲示しておく。 ・国語の時間を利用し、成長を振り返った作文を書いてお



<p>一員としての自分の役割を考えることができる。 (ケ)</p>	<p>家族からの手紙により、家族が期待していることが分かる。 家庭で現在行っている自分の仕事を振り返り、これから、自分でできることを考える。</p>	<p>・家庭生活においても自分でできることを増やしたり、家族の一員としての自分の役割を考えたりすることができる。 ＜イ - ＞（振り返りカード）</p>	<p>き利用する。 ・依頼しておいた家族などからの返事の手紙を渡し、読むことを通して、支えてくれた人々の気持ちや思いが分かるようにし、家族の一員として自分の役割を考えるきっかけとする。</p>
---------------------------------------	--	--	--

#### 4 単位時間の展開例

(1) 本時のねらい 自分の小さい頃のことについて、友だちに発表することを通して、自分や友だちの小さい頃のことについて知り、これまでの成長に気付くことができる。

(2) 本時の位置

6 / 21時

(3) 展開案

過程	学習活動	評価規準と評価方法 ・評価の視点 ( ) 評価方法	指導・援助
つかむ / 活動する	<p>1, 小さい頃の思い出の品物などをグループの中で見せ合う。 2, 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の小さい頃のことについて話したり、友だちの小さい頃のことを知ったりしよう。</p> </div> <p>3, 今日の学習で聞くときの観点を確かめる。 4, 小さい頃の思い出の品物を見せながら、その頃の自分の様子について発表する。(グループ発表) 聞く観点をもち、発表後一人ずつ観点をチェックする。 ・友だちの小さい頃のことがあった。 ・初めて知ったよ・大きくなったね (一言書く)</p> <p>5, グループ発表の中で、本時のねらいに迫る姿が見られた児童の発表を教師が捉え、数名の児童に意図的に全体の場で発表させる。 ・小さい頃の様子がよく分かる発表 ・持ってきた物について、そのこととかがわっていた周りの人のことについて発表していた姿</p>	<p>関心・意欲・態度＜ア - ＞ 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。 (発表の様子) ・うれしそうに話している。 ・自信をもって話している。 ・自慢気に話している。 ・持ってきた物を提示して話している。</p> <p>思考・表現＜イ - ＞ 様々な物を手掛かりとして、過去の自分と現在の自分を比較し、成長を表現することができる。 (発表の内容・学習カード)</p>	<p>・冬休みの課題で、小さい頃の思い出の品物や小さい頃のこと分かる物を探そう、学年通信や生活科便りで、保護者に依頼しておく。(家庭の事情には十分配慮する。) ・自分の持ってきた物を隠す子には、話を聞き自信をもたせる。 ・家庭での調べる学習に調査カードを活用し、「見つけたよカード」に記入し、本時の発表に使用し、自信をもって話せるようにする。 ・事前に一人一人の様子を把握するとともに、過去の自分と現在の自分と比較し、自分の成長に気付いている箇所や、自分の感じたこと、気付いたことを記入している児童の評価をし、発表の意欲化につなげる。 ・発表に自信のない子など、気にかかる児童については、調査カードで事前に発表内容を確認、よく調べてあるところを認め安心して自信をもって発表できるよう援助する。 ・十分な調べ学習ができていない児童について</p>

<p>振 返 る</p>	<p>・自分の気持ちや思いを語る児童の姿 (全体発表)</p> <p>6, 全体発表で、友だちに対して今の友だちの姿と比べてどうであったか、感想を発表する。</p> <p>7, グループの友だちに、チェック表を参考にしながら、「大きくなったね・すごいね・よかったね」のメッセージを書いて送る。</p> <p>8, 友達からもらったメッセージを読み、活動を振り返り、振り返りカード(持ってきた物へのお手紙)を書く。</p>	<p>気付き&lt;ウ - &gt; 小さい頃のことについて発表することを通して、自分が大きくなったことや、心の成長に気付いている。 (振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分と比べている。</li> <li>・自分の持ち物に愛着をもっている。</li> <li>・友達のメッセージから、自分の変化に気付いている。</li> <li>・感謝の気持ちをもったり、これからの自分の在り方についてまでも考えたりしている。</li> <li>・成長を喜んでいる。</li> </ul>	<p>は、事前の面接により、理解を深め、記入できるようにしたり、さらに調べるとよいことを話し合っ て意欲を喚ぶようにしたりして援助する。 ・発表が苦手な児童には、カードに赤ペンを入れて、内容のよさを認め、励ます。</p> <p>・今の自分はどうか?と問い返すことで、話の内容の点で、現在と過去の自分を比べるよう に投げかける。 ・自分が持ってきた思い出の品物へのメッセージに、評価の視点に基づいた児童の姿が見られたら価値付け、学級全体に広める。</p>
----------------------	--	---	--

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

本時重点的に取り上げた評価基準と評価の方法、児童の実際の姿

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<p>本時重点的に取り上げた評価規準</p>	<p>関心・意欲・態度 &lt;ア - &gt;</p> <p>自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。 (グループでの発表の内容)</p>	<p>気付き &lt;ウ - &gt;</p> <p>小さい頃のことについて発表することを通して、自分が大きくなったことや、心の成長に気付いている。 (振り返りカード)</p>
<p>評価の視点</p>	<p>「おおむね満足できる」状況 B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしそうに話している。</li> <li>・自信をもって話している。</li> <li>・自慢気に話している。</li> <li>・持ってきた物を提示して話している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分と比べている。</li> <li>・自分の持ち物に愛着をもっている。</li> <li>・友だちのメッセージから、自分の変化に気付いている。</li> <li>・感謝の気持ちをもったり、これからの自分の在り方についてまでも考えたりしている。</li> <li>・成長を喜んでいる。</li> </ul>
<p>児童の実際の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お母さんが大好きな、私の服だよ。」 B</li> <li>・「ほら、見て。こんな車に乗ってたよ。」と自分が乗ってみようとする。 B</li> <li>・「これは、ぼくの左利きを直した箸です。お母さんが左利きを直そうと買ってきてくれたものです。」 B</li> <li>・「私は、この保育器に1ヶ月も入っていました。」と、写真を提示。こんなにちいっちゃかったそうです。 B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の名前は、お父さんが神社で「千」をもらってきてくれ、お母さんとおじいちゃんとおばあちゃんのみんなで「穂」を考えただよ。 (神主さんに命名していただいたときの文字が大切に保管されており、ずっと自慢げに机の上に堂々と置かれていた。) &lt;名前さんへメッセージ&gt; 名前さん、そんなふうになまえが付けられていたなんて初めて知ったよ。うれしいよ。大事にするね。 A</li> <li>・お店に行くと、必ずウルトラマンシリーズを買ってもらっていました。宝物です。お留守番をするときは、隣のお兄ちゃんとのこのウルトラマンで遊んでいました。 B</li> <li>・保育器に1ヶ月も入っていて、やっと退院したんだけど、病気をして、救急車を呼んだそうです。運ばれたとき、お母さんが「死んじゃうかもしれない。」と心配してくれました。生きててよかったです。(身長など比べていたこと、命の大切さへの気付き、感謝の気持ちがあり A)</li> <li>・お母さんが買ってくれた箸はあんまり使わなかったけど、今は右で上手に箸が使えます。 B</li> <li>・私は、小さい頃、指しゃぶりをしていました。この親指がそうです。 B &lt;親指へのメッセージ&gt;</li> </ul>

		指さんありがとう。もう指しゃぶりはしないよ。さみしくないよ。この指で鉛筆もったり、はさみも使えるようになったよ。 (心の成長に気付いているA)
--	--	---

「おおむね満足できる」状況(B)であったが、さらに自分の心の成長に気づき、(A)に至った児童の姿と指導・援助

お店に出かけると必ずと言っていいほどウルトラマンをおねだりして買ってもらっていた児童は、学級全員の前で教師に紹介されて、コレクションを披露することになった。



教師の指導・援助

こんなにもたくさんウルトラマンを買ってもらっていたんですって。持ってくるのが無理だったので、写真を用意してもらったよ。小さい頃おねだりしていたんだってね。今は さんどうかな？(学級の友だちに投げかける)



<学級の友だちの声>  
えー。全然ちがうよ。そんなわがママ言わない。



少し、はにかんだ。照れた表情で自分の席に戻る。

今はもう、欲しい物をおねだりしたりしないよ。わがママを言わないよ。でも、大事な宝物なので、大切にしまっておくよ。 Aと判断